

<週報No. 2,957> 3,069 回例会

2021年11月26日(金)

■会長／北川 和彦 ■幹事／飯田 兼光

◆司会＝玉本 広人 SAA

◆ゲストビジター＝柳平 直章様（諏訪市教育委員会 教育総務課長）、飯島 恵子様（同課・学務係長）

◆出席報告

本日	100.00%	0名欠席
前回訂正	100.00%	0名欠席

◆ラッキーナンバー＝No. 16 串原弘樹君

◆ニコニコボックス＝●北川和彦君・飯田兼光君＝社会奉仕委員会の皆さん図書寄贈報告お願い致します。●玉本広人君＝教育委員会・柳平課長、飯島係長、本日は宜しくお願い致します。●串原弘樹君＝ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・北川和彦会長＝14日の諏訪ローターアクトクラブとの合同例会には多数出席して頂いて有難うございました。ぬのはんさんには美食を、真澄さんには夢殿を提供して頂き有難うございます。

三井会員が日本のロータリー100人に選出されお祝いもさせて頂きました。昨年100年を迎えたロータリーの中で、物故者を含めた中で100人です。また2600地区からは2名推選を出し、三井会員が選ばれたとのことで、我が諏訪ロータークラブにとって誠に誇らしことです。

「日本のロータリー100周年ビジョンレポート2020」が発行され、その中に三井会員の紹介があります。

「三井章義氏は、尊敬と敬愛を込めて『ミスターロータリー』と呼ばれている。ロータリーの哲学とルールを隅から隅まで自分のものにしていて誰かが認めているからだ。…現在ではロータリー歴50年を越え、所属する諏訪RCではもちろん最長老。2600地区のパストガバナーの中でも、年齢、活動歴ともに抜きん出ている、いわばロータリーの生き字引的存在である。…三井氏はロータリー活動でも事業でも、常に端正でダンディーである。温厚で篤実な人間性は生来の資質であろう。論理的な話しぶりには説得力があり、ガバナーや団体の長として組織をまとめいく力になっている。」執筆者は伴賢時郎元当クラブの会員です。

私が、ロータリーに入会した一番の動機は三井会員のお話をできるだけ多く聞くことでした。

早稲田大学同窓会長や裁判所の調停協会の会長として話しを聞く機会があったのですが、世界情勢や日本に現在起きている問題に触れて、各会の問題状況、その将来、と広く深い話しをされていました。もっとたくさんの話しを聞きたいと思ったことが入会の最大のきっかけでした。

今回の三井会員の評価は私個人にとっても大変な喜びです。本日は社会奉仕委員会の担当例会です。宜しく申し上げます。

◆幹事報告・飯田兼光幹事＝教育委員会の皆様本日は有難うございます。

四賀小学校から図書券寄贈の御礼が届いていますので回覧致

します。

小島拓也会員のご尊父 信勇(のぶお)様が、11/21 享年81歳にて永眠されました。故人のご冥福をお祈り申し上げます。聴聞受付告別式に関しましてはご案内の通りでございます。

新入会員候補者、NTT 東日本諏訪営業支店 丸山博己支店長の入会に関し異議申し立てはございませんでしたので、正式に入会手続きさせていただきます。

次回12/3の例会はクラブフォーラムで、プログラム委員会の担当により、2021年を振り返って頂きます。

本日例会終了後、未来形成委員会を開催致します。

◆委員会報告

●親睦・クラブ親善委員会・川村総一郎副委員長＝最近ニコニコボックスの集まりが悪いので何かよいことがありましたらご協力宜しくお願い致します。

前回美食会としてローターアクトの皆様と多くの皆様にご参加頂き誠に有難うございます。

ぬのはんさんには大変美味しい料理とお酒を出して頂きました。加藤さん有難うございました。

今回は12/21(火)にクリスマス例会として家族例会を計画しております。ぬのはんさんにて18時点鐘、詳細案内はFAXにて連絡致します。小針さんを介して(松山)三四六さんをゲストにお招きする予定ですので多くの皆様にご参加頂きたくお願い致します。

●65周年実行委員会・記念誌部会・宮坂康弘部会長＝65周年記念誌部会から報告です。18日に初会合を開催し基本的な方針が決まりました。55周年と60周年を参考に進めて参ります。皆さんには写真や家族写真をご提出頂き、コメントも頂きたいと考えております。また2017年から2022年までの会長、幹事の皆様方には原稿の寄稿もお願い致します。今後メール、文書にてお願い致しますのでご協力宜しくお願い致します。

◆クラブフォーラム・社会奉仕委員会・高橋千昭委員長＝

日頃は社会奉仕にご協力頂き有難うございます。

本日はクラブフォーラム図書寄贈報告として、8/27に市内の全小中学校に配布する「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」を諏訪中学校に



て贈呈式を行いました。北川会長より生徒代表に目録を贈呈し、同書を監修された諏訪湖クラブ・沖野会長に講和頂きました。その後、四賀小学校赤羽校長・図書委員会の児童より御礼の手紙を頂きましたので回覧致します。

10/25には創立65周年記念事業の一環として、ロータリー財団の基金を活用しプロジェクター・図書の贈呈式を上諏訪小中学校にて行いました。同日小島会員より、来年6月に開催される諏訪湖トライアスロンに関する講演を行いました。生徒からの感想もお読み下さい。

本日は贈呈されたプロジェクター等の活用につき諏訪市教育委員会・柳平様、図書寄贈につき飯島様よりご報告頂きます。

●プロジェクター寄贈報告・柳平 直章様（諏訪市教育委員会教育総務課長）＝本年3/17に最後の卒業式が行われ高島小148年、城北小55年の歴史の幕が閉じました。同4/7上諏訪小学校としての新たな歴史の1ページが開かれました。

初代上諏訪小学校長の矢島作朗先生からは、「一人一人が翼を広げ、みんながみんな、希望に目を輝かせて、夢に向かって飛

び立ちましょう。」との式辞があり、校歌の代わりに、「翼をください」を会場の全員で合唱しました。6年生の児童からは「統合で、沢山の友達が出来て嬉しい。交流を大切にしていきたい。」との声もありました。

上諏訪中学校の入学式、始業式の中では、三輪校長先生から、小中一貫教育のスタートにあたり、生徒に向けて「小学生の気持ちに心を寄せる機会が増える。思いやりのある温かい心を持って欲しい」との呼びかけがありました。「自らを拓き 未来を生きる」という、学校教育目標に向かった新たな歩みが始まりました。

上諏訪小・中の一貫教育のスタートにあたり 4/2 に上諏訪中学校において、上諏訪小・中での合同の職員会、及び教科会、係会等が行われました。今後も年間を通して定期的に行われます。特に、小・中で教科担任制として乗り入れ授業となる算数、英語、家庭科等については、じっくりと小中合同の教科会をとり、授業のスタートに備えています。

同校の特色につき説明致します。

特色①：『カリキュラム(教育課程)の工夫』、先生方には4月から、小・中9年間で学ぶ学習内容の系統性(いわゆる、つながり)を大切にした教科指導、ジョイントカリキュラムの実践、そして「伝えあう力」を育む授業の実践をしています。

特色②：「小学校から中学校へのスムーズな移行のために、複数の目で共に子どもたちと関わるシステムをつくる」。学習における「いわゆる中一ギャップ」の解消を進める一つの手段として、また、当市の小中一貫教育の目玉として「県の加配教員1名と市費による教員2名」が中心となり授業を行っています。

開校1ヶ月後の中学校での学習や生活についての感想の一部には「苦手だった算数、授業のスピードがとても早くなったけど、今はとても楽しい」等の感想があり6年生の児童からとても好評です。

6月に6年生に書いてもらった感想では、約8割の児童が「授業がよくわかる・わかる」と回答しており、「中学校での生活がとても楽しい、楽しい」が73.1%となっています。

児童からは、「通うのは少し大変だけど、最近は慣れてきました。算数も英語も全員が分かるように授業をしてくれるのでとても嬉しいです」「中学校の人は挨拶を返してくれるので、それに負けないくらい大きな声で挨拶を返したい。」等、中学校での生活が先輩の素晴らしい面を学ぶきっかけにもなっています。

特色③：互いの結びつきを深め、異年齢集団での学習や交流ができる。中学生が小学校に出向いて本の読み聞かせを行っています。「少し緊張したけれど、小学生が笑ってくれて、こっちも嬉しい気持ちになったし、達成感もありました。」との感想があります。

夏休みには、校友会主催の「勉強お助け隊」として、上中生が小学生の学習のお手伝いにも取り組みました。

一貫教育を行っている多くの学校から報告されていた『児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれるということ』が、まさに、上諏訪中学校においても、異学年での関りにより、中学生の心の成長に大きく繋がるという可能性を示してくれています。

特色④：ふるさと学習。小学校は、従来の取組みを生かすべく、学級単位でまとまりのあるテーマを設定し、探求的な学びを

深めていく学習(すわっこ学習)を実践していきます。

上諏訪中学校では「諏訪学」として本年度より小学校で身に着けた学び方を基盤に個人テーマを設定し、学年を追って地域や世界を見通した課題探究へと発展させる方向で計画しています。

特色⑤：地域協働の学校づくりの深化・発展。上諏訪小学校では新たに「上諏訪コミュニティスクール運営委員会」を設立し活動をスタートしました。

上諏訪中学校でも上諏訪小学校と小中一貫教育校としてスタートし、将来的に一体的な学校運営委員会を検討していく方向性や、国型のコミュニティスクールへの移行も視野に、全体としてスリム化した組織体制で計画をしています。

今後、小中それぞれの特色を生かした活動を進めると共に、将来的には、中学校区での一体的な運営を目指していきます。

小中一貫教育がスタートし約半年となります。この間の、子供達の新たな環境への適応の早さや成長には目を見張るものがあります。そして、日々の学びが新しい環境と共に、深まってきている感もあります。まだまだ課題もありますし、子どもたち一人一人の心の持ちようも多様です。

そのことを常に意識し、実践を振り返りながら、小中一貫教育のよさを引き出す方策を追求し、学校と地域が一体となって、「自らを拓き、未来を生きる」子どもの育成を目指し、新しい教育の姿を具現する、学校づくりを進めていきます。

最後になりますが、令和5年度からの実践を目指す「分離型小中一貫教育」を見越し、新たな教育課程の策定を目指すために、諏訪市の全小中学校から、委員の先生方を推薦して頂いた『小中一貫教育プロジェクト推進委員会』を、今年5月に立ち上げ学力・資質向上と交流の2つの分科会において、現場の先生方の視点により分離型小中一貫教育の教育課程の構築を目指していきます。

上諏訪小中の実践を土台とし、諏訪市全体の方向性を考える中で、分離型で行う小中一貫教育の効果を上げる取組みは、まだこれからとなりますが、このプロジェクト推進委員会を中心に具体的な教育の内容を考え、そのシステムを構築していきます。

本年度の上諏訪小、上諏訪中の小中一貫教育の成果・効果を十分検証し、市内の全小中学校に広げていけるよう、ゆめスクールプランを推進していきます。有難うございました。



●図書寄贈報告飯島 恵子様(同課・学務係長)＝体育館で大型スクリーンに映して集会を実施、総合的な学習の時間で学んだことをタブレットでまとめ、お互いの練習場面を見あったり、発表では小型のスクリーンに写したりと、プロジェクターは大活躍しています。

書画カメラは数学の授業で解き方を例示し、教師が書く手元を大きく映し生徒が見ることができる様になりました。

◆今後の例会日程

12月3日	金	3070 回例会・クラブフォーラム
12月10日	金	3071 回例会・クラブ協議会
12月21日	火	3072 回家族例会